

◆公開・活用の取り組みを促進

1. 史跡岐阜城跡を活用した取り組み

岐阜城跡を活用したイベントや、信長公・岐阜城に関するイベントを実施し、史跡の価値を広く伝えます。

2. 発掘調査・整備を公開

発掘調査や整備工事は随時公開し、調査や整備の最新の状況を常に来訪者に伝えます。

3. 周辺の歴史資産との連携

岐阜公園、岐阜城下町、長良川、川原町等の周辺の歴史資産との連携を強化し、地域全体の観光振興に努めます。

4. 情報発信・案内

インターネットや民間団体との協働による、積極的な情報発信を行い、広く岐阜城跡を案内します。



信長学フォーラム



ぎふ信長まつりでの火縄銃実演



信長居館発掘調査ブログ



発掘調査の現地説明会



岐阜城パノラマ夜景

◆整備の体制と仕組みづくり

1. 体制と仕組みづくり

整備にあたっては、専門家等によって組織される整備委員会を設置し、適切な整備を心がけます。また、関係機関やボランティア団体との連携を強化して、史跡の保護・活用を行います。

2. 市民協働

岐阜城跡の保護や観光振興のために、広く市民協働を推進し、市民と行政が連携して史跡の保護・活用を行う体制づくりを推進します。

3. 他都市との連携

信長公ゆかりの市町村、城跡が存在する市町村など、関連する他都市との積極的な連携を行い、調査研究や史跡の保存・活用について情報共有や、イベント等の協力を行います。



ボランティアによる登山道の維持補修活動

史跡岐阜城跡 整備基本構想 ー概要版ー

平成25年3月

編集・発行 岐阜市（岐阜市教育委員会社会教育課）

〒500-8720 岐阜市神田町1-11 TEL:058-265-4141 FAX:058-265-4333

史跡岐阜城跡 整備基本構想

ー概要版ー

2013年3月

岐阜市

岐阜市教育委員会



◆「史跡岐阜城跡 整備基本構想」とは

史跡岐阜城跡は、金華山の豊かな自然や、景観、歴史に恵まれた、岐阜市のシンボルであり、市民の誇りです。平成23年2月7日には、金華山一帯の約209haが、国の史跡に指定されました。

この「整備基本構想」は、岐阜城跡の価値をより高めるため、今後の史跡整備の基本的な方針や事業計画などについてまとめたものです。

◆構想の位置づけ

岐阜城跡は、平成24年度に策定した「保存管理計画」に基づいて史跡の保存・管理を実施しています。本構想は、今後の史跡整備を進めていくための基本的な構想です。将来、発掘調査等の調査成果を反映させながら、計画・設計・整備工事等を行うための、第一段階となるものです。

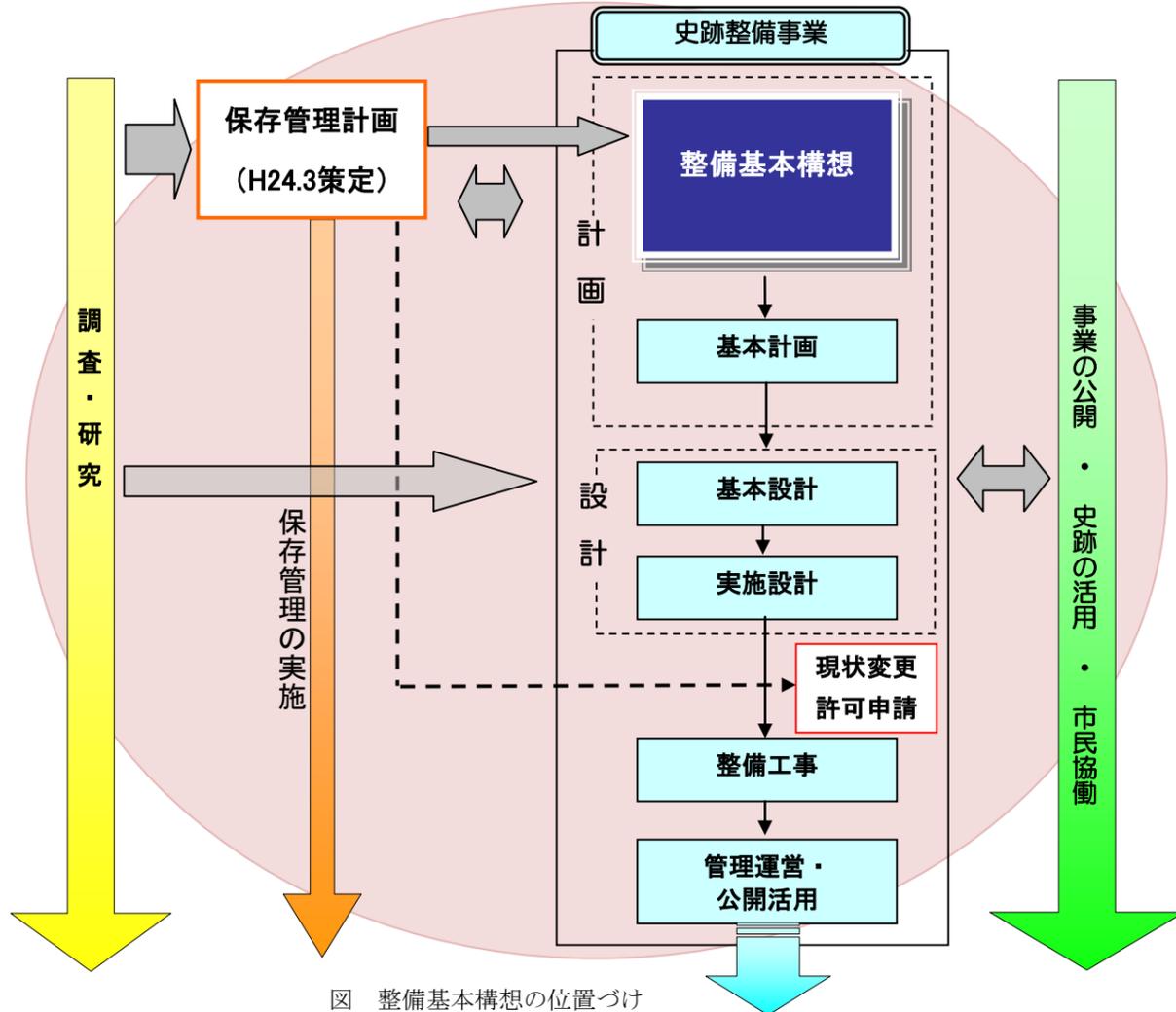


図 整備基本構想の位置づけ

◆構想策定までのプロセス

構想策定にあたり、学識経験者から構成される「史跡岐阜城跡整備基本構想策定委員会」を設置し、検討を行いました。岐阜市教育委員会社会教育課が事務局となって、整備基本構想案を提示し、協議を行いました。また随時、文化庁、岐阜県教育委員会、関係機関、関係委員会等と調整・整合を図って、構想の内容に反映させました。

○岐阜城跡の歴史的価値

岐阜城跡は山上の城郭部分と山麓の居館部分を中心とした城であり、その間を結ぶ登城路や山中の要所に配された砦、そして何より山そのものが天然の要害として機能していました。岐阜城跡の歴史的価値をまとめると、次の3点に集約されると考えられます。

① 織田信長公が天下統一の拠点とした城であること

信長公が岐阜城の後に築城した安土城は近世城郭の出発点ともいわれていますが、中世から近世への転換期にあたる岐阜城跡には石垣のほか巨石列を用いるなど、その構築技術に近世の先駆けともいえるさまざまな要素が窺えます。岐阜城跡は中世から近世への転換期にあたる日本史上重要な城といえるでしょう。

② ポルトガルの宣教師ルイス・フロイスらの詳細な記録が残されていること

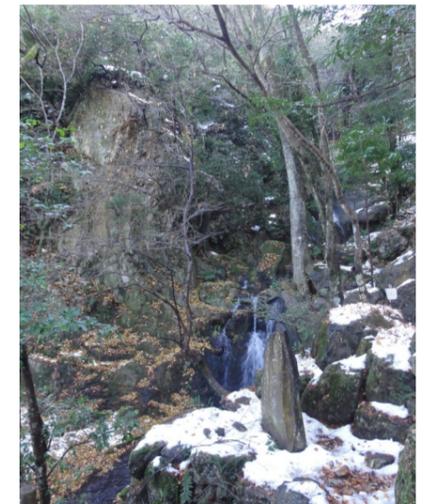
岐阜城跡にはルイス・フロイスや山科言継等が城を訪問した際の記録が残されており、文献史料から城館の構造の一端が分かることが重要な要素となっています。文献の記述と遺跡の対比ができる点でも稀有な遺跡といえます。



山麓部の発掘調査によって発見された庭園跡

③ 日本庭園史の中でも貴重な庭園跡が見つかったこと

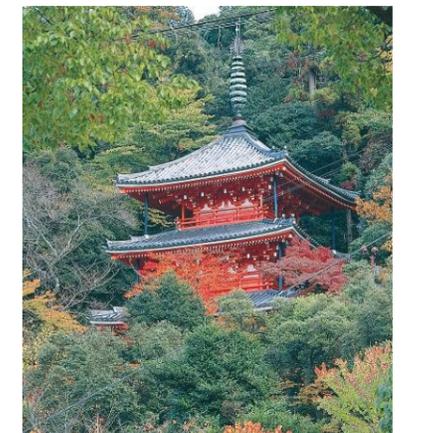
山麓の織田信長公居館跡では巨石列だけでなく周囲の岩盤など自然地形を巧みに利用して、全体的に「見せる」ことを意識した造りとなっています。また庭園遺構のうち、最奥部で確認された園池遺構は、池の構造や立地などから京都の東山殿（現在の銀閣寺）との類似性が指摘されており、将軍の伝統や権威を継承しようとした一面がうかがえます。



山麓部の岩盤（庭園の借景）

◇金華山(稲葉山)の多様な価値

斎藤道三公による築城以前の金華山（稲葉山）は、和歌に詠まれる景勝地や伊奈波神社と密接に関係する信仰の山として知られており、この地に城が築かれる素地と考えられます。つまり、豊かな自然をベースに形成された古来よりの信仰対象や景勝地等の特別な山であったからこそ、戦国時代に至って城郭に利用されたと考えられるのです。また廃城後も尾張藩主の御成や鹿狩等の場として、さらに近代以降には岐阜公園と一体でレクリエーションを楽しむ憩いの山となるなど、城跡である金華山はさまざまな利用がされてきました。このように金華山には城跡だけでなく、自然、信仰、景観、公園としての価値があります。



大正期に建てられた三重塔（公園の価値）

● 史跡岐阜城跡の価値とは？

○ 岐阜城跡の概要

岐阜城跡（国史跡）

所有者 国ほか
 所在地 金華山国有林ほか
 指定年月日 平成23年2月7日
 管理団体 岐阜市

岐阜城跡は、金華山（稲葉山）に築かれた山城で、稲葉山城、井ノ口城とも呼ばれていました。戦国時代に美濃国を治めた斎藤氏の居城であるとともに、織田信長公が天下統一の拠点とした城としてもよく知られています。

岐阜城跡は岐阜市史跡（昭和32年指定）でしたが、近年の調査によりその歴史的価値が見直されるようになってきました。その成果を受けて国の文化審議会が審議が行われた結果、平成23年2月に国史跡に指定されました。これは日本の歴史・文化を考える上で岐阜城跡が高く評価された結果といえます。

岐阜城の城域は分布調査や絵図・文献史料の検討の結果、現在の金華山国有林の範囲に相当することが分かりました。つまり戦国時代の城域が江戸時代には尾張藩、近代には宮内省の御料林へと受け継がれ、現在の国有林となったのです。今回の指定は山麓の織田信長公居館跡を含めた金華山一帯で、面積は約209haとなります。岐阜城跡といえば山頂の天守閣だけが注目されがちでしたが、山麓の居館跡や自然地形も含めて城として機能した山全体が史跡として指定されました。



史跡岐阜城跡の範囲と岩跡の位置

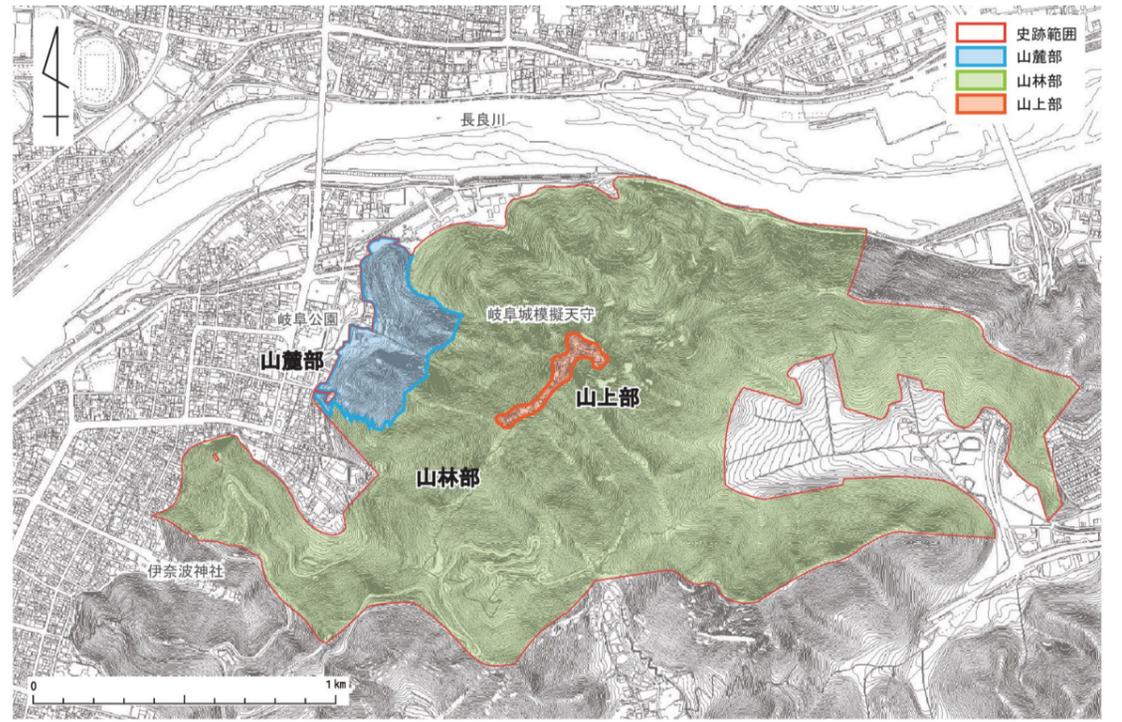
◆ 対象範囲と地区区分

この構想の対象は、史跡岐阜城跡の範囲内全域です。

また、遺跡の状況や利用状況により、以下の3つに地区に区分し、それぞれに合った整備方針・整備計画を作成しました。

地区	範囲
山麓部	西側山麓の城主居館跡及びその周辺（石垣・庭園・巨石列等の居館の遺構）
山林部	砦・登城路等の城郭遺構を含む山林（登城路・砦跡・自然地形）
山上部	山頂及び尾根筋の曲輪内の範囲（石垣・堀切・井戸等の城郭遺構）

表：地区区分



図：史跡範囲と地区区分図

◆ 整備の理念とテーマ

◇ 整備の理念(整備の目標)

- ① 史跡岐阜城跡の調査研究、将来への継承
 岐阜城跡の全容解明を進め、価値ある歴史的資産を将来に継承します。
- ② 地域のシンボルの顕在化
 岐阜城跡の多様な価値を高める整備を行い、さらに地域の誇りを高め、まちづくりに寄与します。
- ③ 観光振興・地域活性化への寄与
 価値を視覚的に伝え、観光拠点としての内容を充実し、観光振興・地域活性化につなげます。

◇ 整備のテーマ

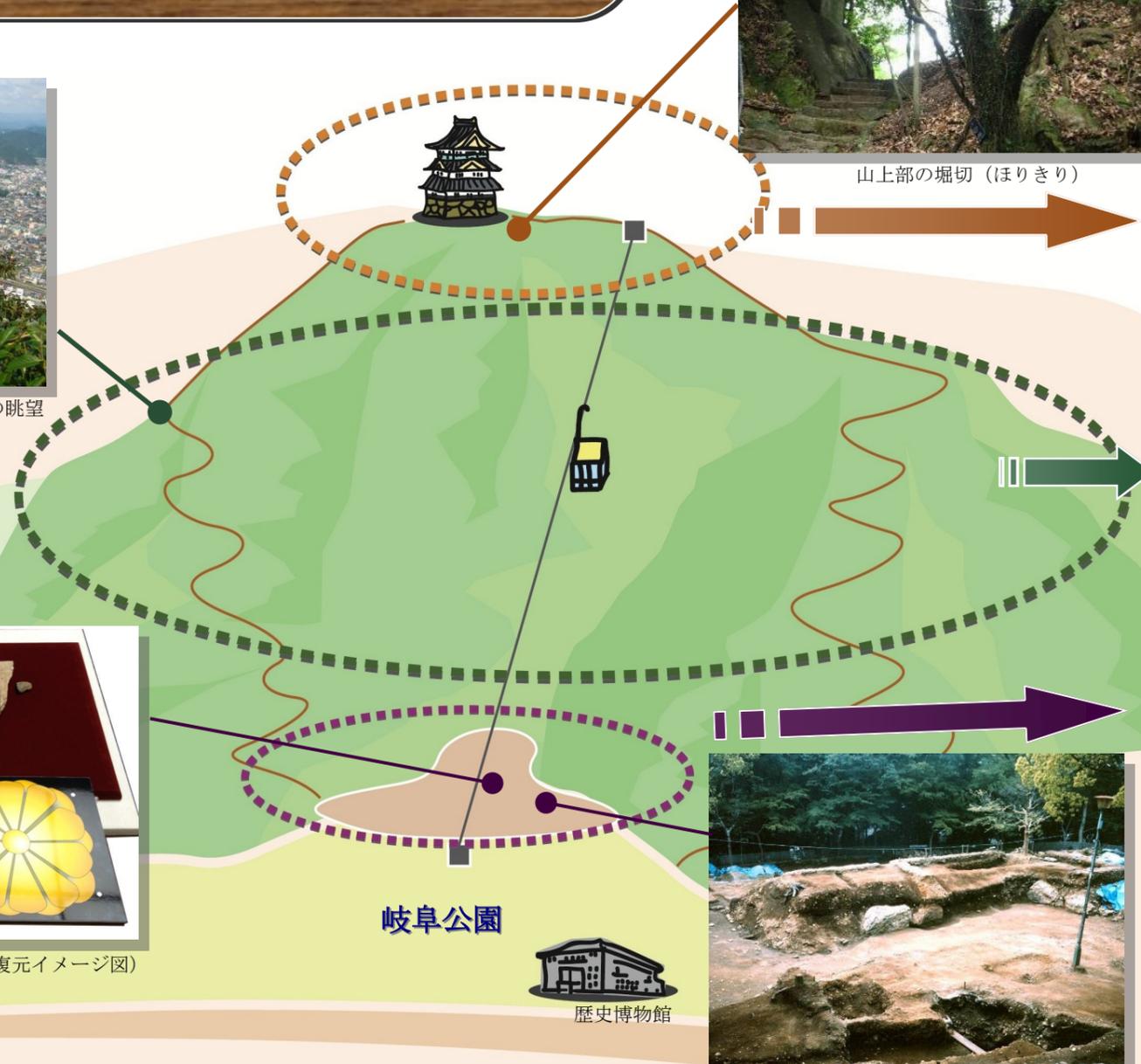
整備の前提となる時代は、信長公が岐阜城を改修してから、岐阜城廃城までの永禄10年（1567）～慶長5年（1600）の間としています。これは、発掘調査の結果、この期間の状況が最も良く分かり、それ以前の遺跡を整備で壊さないためです。

また、ルイス・フロイス等の記録から、織田信長公在城時の岐阜城の状況が最も良く推測できるため、信長公時代の岐阜城の迫体験を、整備のテーマとします。

◆ 史跡岐阜城跡の整備イメージ



水の手道（めい想の小径）の砦跡からの眺望



岐阜公園



歴史博物館



山麓居館入口の巨石列



山麓居館跡から出土した金箔瓦（下は復元イメージ図）



山上部の堀切（ほりきり）

山上部の整備

- ・ 山上部に残る石垣、巨石の整備
- ・ 曲輪の眺望復元（樹木剪定等）
- ・ ガイダンス機能向上
- ・ 井戸、門等の城郭遺構整備



天守台周辺に残る石垣

山林部の整備

- ・ 砦跡等の遺構の調査、整備
- ・ 砦跡の眺望復元（樹木剪定等）
- ・ 登城路の調査、保存



水の手道（めい想の小径）に残る石垣

山麓部の整備

- ・ 戦国時代の庭園を復元
- ・ 石垣、巨石列の整備
- ・ 戦国時代の動線復元
- ・ 地形、建物等の復元検討
- ・ 岐阜公園と連動した整備



最奥部で見つかった池の州浜（北から）

◆ 整備の基本方針

調査 研究

◇ 史跡岐阜城跡の実態を解明するため、砦跡・石垣等の分布調査や発掘調査を実施します。また、文献史料調査や他の城郭との比較研究もあわせて実施します。

保存 整備

◇ 史跡の価値を表す遺構等を確実に保存するため、盛土等による保存措置や、石垣等が毀損した場合の修復等を行います。
また、自然地形や景観等の史跡の多様な価値についても適切に保全します。

活用 整備

◇ 史跡岐阜城跡の価値を的確に伝達するため、露出展示や遺構の平面的・立体的表現、復元展示等の手法による的確な遺構の表現を行い、戦国時代の眺望の復元（樹木剪定等）を検討します。
◇ 来訪者が安全・快適に史跡を巡ることができるように、説明板やガイド端末等の解説施設を整備し、ガイダンス機能、園路や休憩施設等についても、適切な整備を行います。